

ご記入後4月末までにお送りください

COG2016最終公開審査対象フォローアップ（一年後）

アイデア名

「子育てにやさしいまちの空気」をつくる！
市民による市民・行政・企業 三方ハッピープロジェクト

チーム名

みやまえ子育て応援だん

代表者

藤田 友子

公開チームメンバー

宮前区のママパパたち

自治体連携先（部署と氏名）

宮前区役所（企画課 大木・米塚）

東京大学公共政策大学院
PADITプログラム
COG事務局
2018年4月19日

COG2016ウェブサイト：<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2016/>

COG2016フォローアップ

目次

- 提案されたアイデアの状況
- 現時点で実現されていること
- 目標の実現に向けての状況
- 自治体との連携の状況

- その他

1. 提案されたアイデアの状況（現状）

提案アイデア（目標）

- 市民、行政、企業・団体をつないで、「子育てにやさしいまちの空気」を作る

その後の変更点

- 変更はありません
- メンバーも増えて、認知度も上がりました！
- 市民中心に、企業・団体とネットワークを作りながら、どんどん前に進んでいます！

ママたちは
元気に活動し
ているよ！



「楽しい！」
「面白い！」
から前に進む
んだよ！

2. 現時点で実現されていること

- 区内の企業・団体の方から、「協力したい」という声が寄せられること。
- 市民の間でのステッカーの認知度が少しずつ広がってきたこと。
- ママリフレッシュパーティ第2弾を開催したことで、さらに子育て世代への認知度が上がったこと。
- ママリフレッシュマップを作って、子育て中のママたちが息抜きできるお店や場所を可視化したこと。
- 区内の企業・団体どうしを、「子育て」切り口でつながりを作り、お互いの事業に貢献できたこと。（障害児支援団体×新規参入の障害児向けサービス事業者 不登校児支援団体×スポーツクラブ・認可保育園・高速道路）
- 私たちの活動を参考に団体を立ち上げる人たちを応援したり、サポートしながら、お互いに助けあっていること。

3. 目標の実現に向けての状況

今後のマイルストーン

- 協力店を拡大と同時に市民・企業・団体・行政のネットワークの拡大（常に継続）
- イベント開催を通じて、区内の商店や団体と子育てファミリーの接点UP
- 子育てファミリーの行動、実感、希望等をオープンデータ化

↑ 以上は今年チャレンジ予定

課題

- 体制 幼児から学齢期のママ中心の団体であるため、活動に時間的制約がある。
→「楽しい」「面白い」活動展開を基本に、無理せず継続できる活動にフォーカス。
- 資金 現在は、イベント収入とまちづくり協議会助成金で運営中。今後は、イベントのほか、一般市民や企業からの寄付募集も検討中

4. 自治体との連携の状況

- 自治体との直接連携した活動

地域団体との交流会に、区長や関連部署も出席いただき、交流を拡大。
(2017年4月)

協力施設として、自治体の子育て部門や、実際に現場で活躍している保健師さん、まちづくりの担当部署をSNSで市民に紹介 (2017年8月から9月)

5. その他

- 宮前区ではこれから主要駅の再開発が始まろうとしており、区役所・市民館・図書館がそこに移転するかもしれないという、歴史的な節目を迎えます。その中に、子育て世代や、子どもたちの意見や感覚が伝わるよう、行政や開発事業体にアプローチしてゆきたいと考えています。
- 子育て世代の希望や意見・感覚などをオープンデータ化し、さまざまなセクターへの認知を広げることで、さらに「子育てにやさしい社会」の実現につなげたいです。